

木材の環境指標の総合化

木材二酸化炭素固定指数の提案

Wood Carbon Dioxide Fixation Index

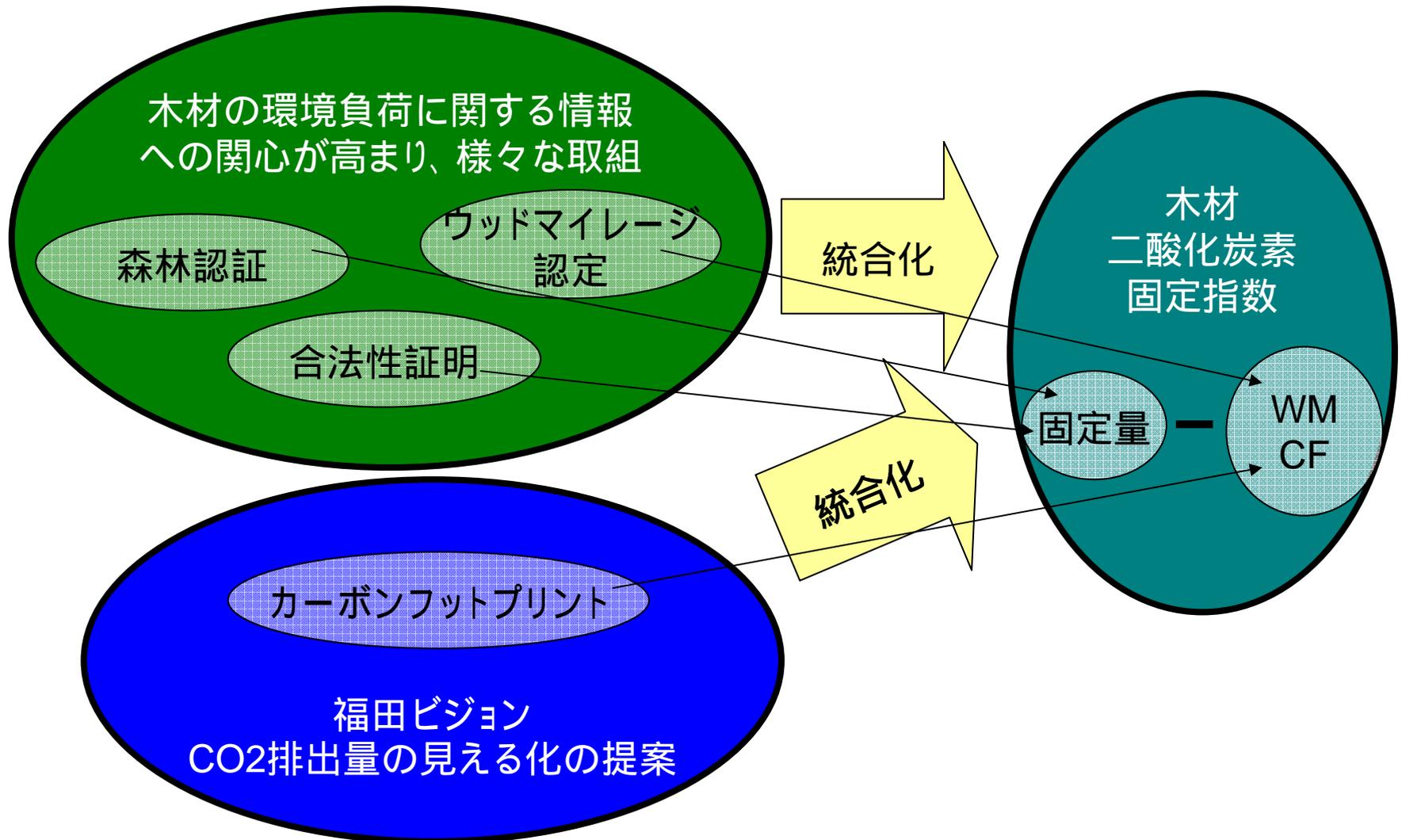
ウッドマイルズフォーラムin東京

2008/7/4

木材の環境指標の総合化の背景

- 福田ビジョンの「見える化」
 - 国民一人一人が持続可能な社会の実現に向けて賢くそして責任ある行動をとることが必要
 - そのためにはCO2排出量の見える化によって、消費者が的確な選択を行うための情報を提供することが重要
 - カーボンフットプリント・フードマイレージ制度が試行
- 木材の場合はCO2固定と排出の見える化を目指すべき 木材二酸化炭素固定指数

木材二酸化炭素固定指数の背景



木材二酸化炭素固定指数

Wood Carbon Dioxide Fixation Index

- 定義式

- 木材二酸化炭素固定指数 (Kg-CO₂) = A - B - C

- ここで

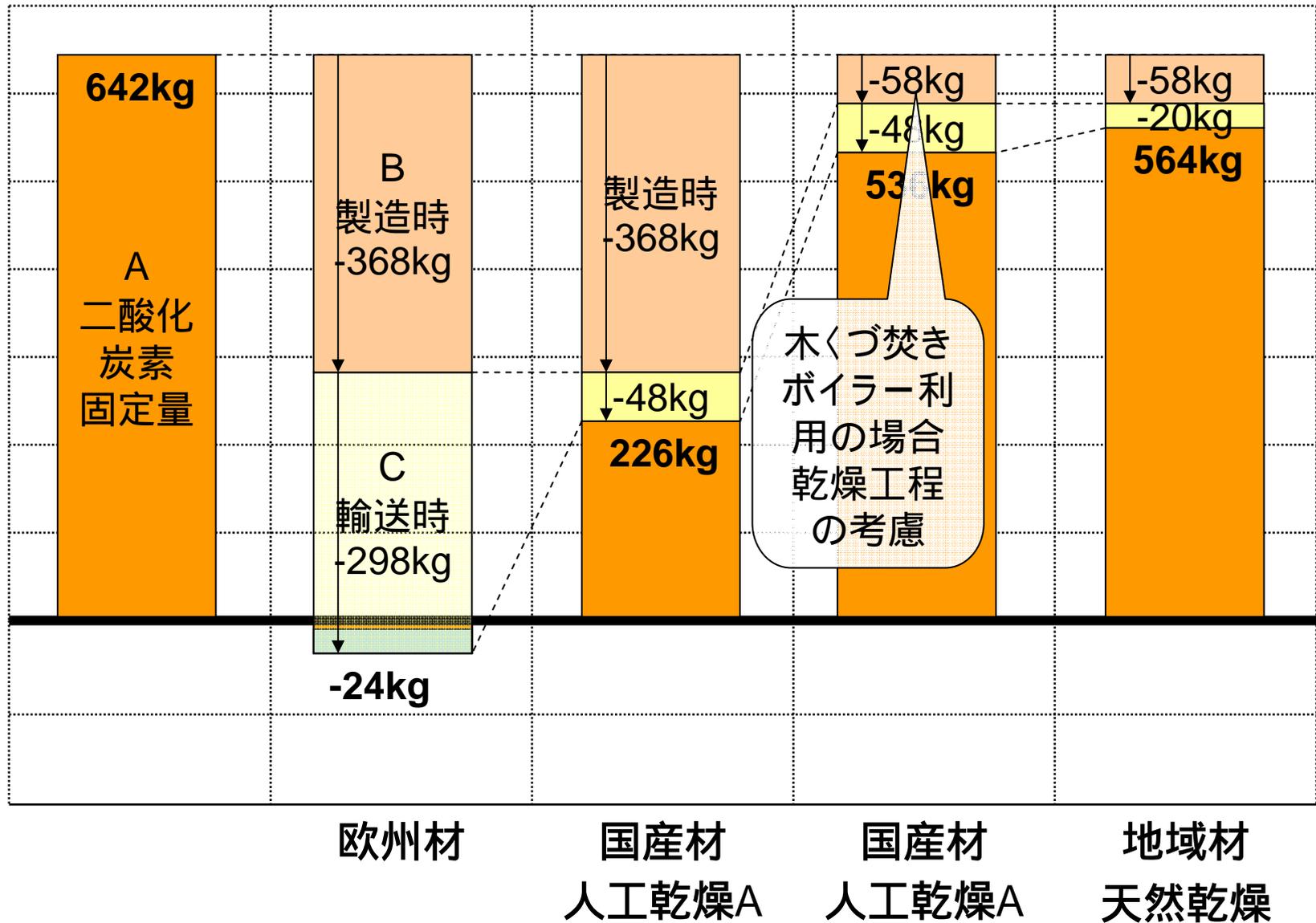
- A = 木材によって固定された二酸化炭素の量
 - B = 製造過程で消費された二酸化炭素の量
 - C = 輸送過程で排出された二酸化炭素の量

- 木材固定CO₂の条件

- どんな木材でも使うことがよいことなのか？

- 最低限合法木材を証明してあることが条件
 - 持続可能性が証明されたものに得点

木材二酸化炭素固定指数の算出例



WCDFIの問題点と課題

- **コンセンサスのプロセス**
 - 信頼出来る認定機関の形成
 - できるだけ幅広い検討過程が必要
 - 森林認証と合法性証明のバランス
 - 人工乾燥材へのネガティブな要素
- **普及の契機**
 - 建築関係者との連携
 - 都道府県の行政との連携
 - カーボンフットプリントとの連携
- **技術的な解明**
 - カーボンフットプリントの定義式との関係